NPO 特定非営利活動法人
埼玉森林サポータークラブ
コミュニケーション・ニュース
【令和５年７月１日　発行（季刊）　VOL.９４】

「令和５年度通常総会開催」

今年は6月17日(土)に埼玉会館3C会議室(さいたま市浦和区)において「令和5年度通常総会」が開催されました。沢田副会長の開会の言葉、霜触会長の挨拶(以下のとおり)に続き議事へと進みました。議長に霜触会長、議事内容を事務局が説明、以下の3議案を審議したところ3議案ともに満場一致で承認され、岡田副会長の閉会の言葉で終了となりました。【出席総数:103名(当日出席者29名、委任状74名)】

令和5年度　第22回の通常総会に当たり、ご挨拶申し上げます。

日頃は会員の皆様には、サポータークラブの活動に、ご理解とご参加協力をいただきありがとうございます。

また、事前の下見、作業計画の作成、クラブ員とのコミュニケーションや外部との折衝など幅広いフィールドの維持管理に努力していただいております世話役の方々、ありがとうございました。

さて、ようやく新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症となり、日常的な規制がだいぶ緩和され、クラブの活動においてもかなり活動しやすくなり現在はほぼ今まで通りの活動に戻ったように思います。

コロナ禍のもとで大きな障害もなく活動ができましたことに改めて感謝申し上げます。そうは言いましても完全に無くなったということではなく、感染拡大の危険性は依然としてあるということを頭においておく必要があろうかと思います。これからも日頃からの健康管理にご留意していただき、山を元気に、山で元気をモットーに頑張っていただきたいと思います。

会長　霜触　賢

『議　　事』

第１号議案：令和４年度事業報告及び決算について

事業報告：事業実施回数９１回・参加人数：1，283人

決算報告・・・経常収益：2,827,637円

【内訳：会費634,000、寄付金：435,950、助成金等1,637,000(含未収金150,000)、その他収益120,687】

経常費用：2,857,545円

【内訳：事業費2,416,593、管理費440,952】

当期正味財産増減額：△29,908円

前期繰越正味財産額：1,069,128円

次期繰越正味財産額：1,039,220円

第２号議案：令和５年度事業計画及び予算について

事業計画・・・実施予定回数：１０２回

予　　算・・・経常収益：3,000,000円

経常費用：3,000,000円

当期正味財産増減額：　　0円

前期繰越正味財産額：1,039,220円

次期繰越正味財産額：1,039,220円

第３号議案：任期満了に伴う理事の選任について

理　事・・・　新任：玉熊英一
　　退任：星直次郎、岡田了

監　事・・・　新任：星直次郎、岡田了
　　退任：町田勝三、大島康行

退任された皆様お疲れ様でした。
新任された皆様よろしくお願いします。

この後、事務局近くの会場で懇親会を実施したところ１９名の参加があり楽ししい時間を過ごしました。

活動記録（2022年3月・4月・5月）

月　日	曜日	フィールド	内容	参加数
3月5日	日曜日	ときがわの森	枝打ち・間伐	21
3月8日	水曜日	桶川・加納屋敷林（小活動）	ナラ枯れ枯損木等処理	4
3月12日	日曜日	ときがわの森	間伐	18
3月15日	水曜日	桶川・加納屋敷林（小活動）	ナラ枯れ枯損木等処理	4
3月19日	日曜日	くるみ小屋	間伐（広葉樹）	10
3月19日	日曜日	越生ふれあいの里山	間伐	11
3月21日	火曜日	笠幡の森	下刈・倒木整理・笹刈り・枝条整理	12
3月21日	火曜日	鴻巣・赤城屋敷林（小活動）	支障木の伐採	3
3月26日	日曜日	緑の森博物館	間伐・除伐	中止
4月1日	土曜日	黒山の森	間伐	12
4月2日	日曜日	ときがわの森	間伐	14
4月9日	日曜日	ときがわの森	間伐	19
4月15日	土曜日	笠幡の森	下刈・倒木整理・笹刈り・枝条整理	中止
4月16日	日曜日	越生ふれあいの里山	間伐	22
4月16日	日曜日	くるみ小屋	除伐・間伐	11
4月23日	日曜日	緑の森博物館	間伐・除伐	18
4月30日	日曜日	越生ふれあいの里山	オークネット準備・草刈り・除伐	9
5月3日	日曜日	越生ふれあいの里山	オークネット準備・草刈り・除伐	10
5月4日	木曜日	北朝霞駅	緑の募金活動	9
5月6日	土曜日	笠幡の森	笹刈り・倒木整理・枝条整理	13
5月7日	日曜日	ときがわの森	間伐	中止
5月13日	土曜日	鷹ノ巣の森	下草刈り	中止
5月17日	水曜日	越生ふれあいの里山	オークネット準備・枯損木処理	7
5月20日	土曜日	越生ふれあいの里山	オークネットの森づくり支援	18
5月21日	日曜日	高谷の森	下草刈り	8
5月21日	日曜日	くるみ小屋	記念行事	23
5月27日	土曜日	黒山の森	間伐	8
5月28日	日曜日	緑の森博物館	間伐・除伐	16

自然のたより(62) 芦生原生林

この度、京都大学芦生（あしう）原生林を訪れる機会がありましたので、その紹介をします。原生林とは何でしょうか。日本には白神山地、屋久島、奄美大島などにあり、いずれも昔から人の手が入っていない森林です。芦生原生林は京都市の北35㎞、美山町の東端、4200haの森林で京都大学が研究用に管理しています。どこも斜面が急峻で、人手が入らなかった理由が分かります。ご多分に漏れずここもシカ害が顕著ですが、時たまシカもあまりの急斜面で転んで骨折することもあるとか。木本が243種、草本が532種、シダが85種あるという。この中で大木になる樹はスギ、トチノキ、ブナなどですが、スギは「裏スギ」といわれ日本海側の特性を持っています。枝を横に伸ばし、垂れ下がったものが地面から根を出し新しい株として成長します。これを「伏条台杉」というそうです。私たちが普通見る杉はまっ直ぐ一本ですが、原生林で見るものは写真のように多くの株が集まっています。樹齢は古いもので1000年以上らしいです。森の中は由良川とその支流が流れ、動物種も豊富です。これからもずっと原生林として残ってほしいものです。

〈No.647　賀登　環　　川越市〉

樹齢千年を超える台杉

鹿よけ柵　希少なランも危機的状況

樹高38mのカツラ

フィールド活動レポート

■4月1日(土) 越生町「黒山の森」

2018年の3月にクラブに入会し、初めての活動が黒山の森での除伐作業でした。その時は、手鋸で漠然と雑木を切っていたら、菅家さんに除伐した木を整然と並べると森林がきれいに見えると教えてもらったことを思い出しました。黒山の森は、比較的林齢が高いヒノキの森林です。そのため、枝が少しでも絡むと直ぐにかかり木になり、目一杯の力で牽引ロープを引っ張って伐倒するので、作業が終わる頃にはへとへとととなります。しかし、作業の後には、山主の小峰さんから、ふきのとうやタラの芽などの春の山菜天ぷらと豚汁を振舞っていただき、その苦労も直ぐに忘れてしまい、黒山の森の活動の一つの楽しみとなっています。今回は、むらさき山の三つ葉つつじ園が見頃となっていて、食事の後、みんなで散策しました。でも作業で疲れた足で広いつづじ園を回るのも一苦労でした。〈No. 796 吉松慎哉 川越市〉

■4月2日(日) ときがわ町「ときがわの森」

ここの現地は2016年に下見をしたときの様子はよく覚えています。樹齢10年の桧林は手入れがされてなくうっそうとして枝が腰の高さ位から茂り、これでは鹿さえも入り込むのは困難だろう思えました。それだけ森林整備のし甲斐のある現地でもあった訳です。8月、枝打ち作業からスタート少々の間伐を交えながら高枝打ちも体験、現在は間伐作業を継続している。本日下部のおよそ半分が終えいよいよ上部へと移行してゆきますが間伐の終わった区域は見違える程です。今日の活動は13人の参加者で数年ぶりの参加者もあり久し振りの活動に汗を流していました。森林の保全・育成は息の長い継続的な活動の連続だという事を間伐空間から見る空をみて実感したものです。少し疲れたけれど楽しい一日でした。

〈No..646 梶田 力 鶴ヶ島市〉

■4月16日(日) 神川町「くるみ小屋の活動」

くるみ小屋ができてから今年で21年が経ちました！今年の記念日は、くるみ工房の作品展示会、ジビエカレーパーティー、コカリナ演奏会と盛りだくさんの内容でお祝いをしました。作品展示会では、物作りの達人たちから直にお話を聞くことができ、大変興味深い時間となりました。またこの日は、陶芸窯(千秋窯)での窯焚きもあり、海外のアーティストや子どもたちとの交流も。くるみ小屋を通じて、人と人とが繋がり、様々な交流や体験を行うことができました！

〈No.817 野原香澄 鴻巣市〉

■5月4日(土) 北朝霞駅前での「緑の募金」活動

コロナで自粛していた街頭募金を4年ぶりに実施しました。9名のサポーターが9時から11時まで「おはようございます。今日はみどりの日です。緑の募金に御協力ください。」と大きな声で協力をよびかけました。小さな子供達は興味津々、親子で募金していただきました。子供達に緑の羽を付けてあげると大喜びでした。また、小銭を全部募金していただいた方もいらっしゃいました。集まった募金13,442円は、早速埼玉県緑化推進委員会へ。今後、緑化活動に活用していただきます。

〈No.719 玉熊英一 さいたま市〉

■5月6日（土）川越市「笠幡の森」

川越市の西の方、笠幡地区に「笠幡の森」はあり、個人所有の6haほどの平地林です。2010年に「彩の国みどりの基金」を活用しジャングル状態であった2.6haが取り敢えず手入れされました。この事業を行った埼玉県川越農林振興センターから、継続的な手入れをサポータークラブに打診され、地主、クラブ、振興センターの3者で話し合いを行い引き受けることになりました。それから4年後にもう一箇所ある同じ地主さんの雑木林の手入れも引き受けることになりました。ここが3.6ha、まさに放置された平地林の見本のようなところで、中に枯損木が横たわり、アズマネザサも竹かと見まがうほど太く大きくなって、一歩も中に入れない状況でしたが、皆さんのガンバリで3年目くらいに見通せるようになりました。初めから手入しているエリアは通学路も通っていて、小中学生、高校生、一般の方々の通行が結構あります。ここも不審者の心配がなくなった、と感謝されています。5月6日は広い方の林で、13名のクラブ員が刈払いで活動。ここは近隣の落枝などの苦情から地主さんが止む無く大幅に道路際の樹木を伐採し、裸地になったので外来種やクズが大繁茂し、手こずるエリアになりました。そこを脱出し林内に入ると皆さん、ほっとした表情でした。林内は野鳥の営巣があったり、スズメバチが巣作りを始めたり、生き物の生息地になっています。ここの手入れ活動も13年目を迎え、次第に生物多様性豊かな森になりつつあります。　〈No.647　賀登　環　川越市〉

■6月10日（土）小川町「鷹ノ巣の森」での活動

ここのフィールドは伐採跡地であった山を整備し、平成24年3月に最初の植林（広葉樹）を行い、それ以来エリアを広げながら何度かの植林を行い、下草刈、竹刈などの手入れを続けているところです。植林した木々は今では大きく成長し、下刈の必要は無くなってきています。が！竹の勢いはいまだ衰えることなく、まだまだ毎年毎年竹がエンドレスに繁殖し続けている状態です。森の植生といったことはよくわかりませんが、仮にこの先竹刈をやめてしまうと数年で元の竹林になってしまうのではないかと心配します。ここでは、これからも永遠に竹と付き合っていかなければならないのでしょうか！？

〈No.30　木島　浩　寄居町〉

■5月21日（土）小川町「高谷」での活動

今回の作業は草刈りと苗木の固定でした。自分にとって初めての草刈りでしたが、気温もそれほど高くなかったので、快適に作業ができました。草刈りをする上で、ただ大ガマを振り回すのではなく、左手の小指に力を入れ、右手は添える、そして、草を刈る際に瞬間的な力で大ガマを引いて刈るという指導のもとで作業をしたところ、簡単に草刈りができました。苗木の固定の作業では、枯れた苗木を取り除く作業と古くなった紐を新しいものに交換する作業がありました。紐はただ結べば良いのではなく、木の幹が成長する際に締め付けられないように特別な結び方をしました。作業後には、地主の馬場さんから小梅をたくさんもらいました。

〈No.832　福田俊明　さいたま市〉

（体験参加　松坂珠生）

森林整備や里山の保全に興味があり、実際に参加したいと思って今回初めて参加させていただきました。活動時には、ニホンミツバチの分蜂した群れを発見したり、ノイチゴを摘まんだり、鳥の囀りが聞こえたりと、サポーターの地道な活動によって森が育ち、生物が息づいていることを肌で感じました。また、植樹した年の異なる木々があり、その順番で木も大きくなっていて、年を経るごとに育っていくことを実感しました。体を動かし、森林を元気に育てる、とても気持ちの良い汗をかきました。是非また参加したいです。**※写真はハチの巣**

■新活動地「風布の森」紹介

風布の森は寄居町の西部に位置し、国道140号線の皆野寄居バイパスの寄居風布ICを降り、風布みかん山の奥にあります。広さは計1．75haの広さの細長い活動地、大小4つのエリアに分かれています。スギ・ヒノキの15～30年生林、一度も間伐されていない人工林です。下草も生えてなく薄暗い林となっています。太さは6～7cmのものが多く、15cmのものもあります。斜面もそれほどきつくなく、ほとんど平地といった活動地で、参加しやすい活動地です。この太さでは、チェーンソーでは簡単に切ってしまいますので間伐にはふさわしくなく、手ノコで十分間伐できます。是非皆さん、この林を私たちの手で健全な林にしましょう。　〈No.522　岡田豊国　東松山市〉

拠点活動レポート

越生ふれあいの里山活動（越生町）

越生ふれあいの里山はオークネット森づくり支援の準備活動の報告に変えさせていただきます。
第1回3／19（日）13名の参加で、間伐木の選木、間伐エリア除伐。
2回目は4／16（日）に16名の参加で、間伐木周辺の除伐、間伐木予備を入れ8本の選木、コースター作りエリアの整備。
3回目5／3（水）に10名の参加で、間伐木5本の選木、伐倒方向、滑車、ロープ引き方向の確認・テープで表示、コースター作りの5班の台作成を行い、準備が完了しました。
更に4回目5／17（水）に7名の参加でオークネット看板付近にある直径40cmほどのアカマツの枯損木を、かかり木になったものの伐採、ベンチに加工し、その場所に設置し、無事作業は完了しました。
オークネット森づくり支援当日5／20（土）は17名の参加。オークネット社員等34名の参加で、10:00さくら山公園駐車場での開会式。間伐エリアに現地移動、1班から順次間伐5班まで無事終了。その後移動して12:30までコースター作り。12:50にはさくら山の駐車場に戻り閉会式を行った。

〈オークネット　担当臨時世話役　岡田（豊）〉

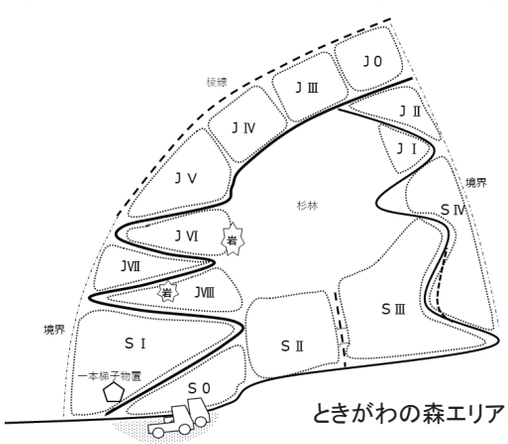
緑の森活動（入間市　緑の森博物館）

■4月22日（日）　下草刈り
新年度を迎え、コロナ禍により停滞していた活動開始。17名の参加で雑木林広場周辺（クラブ20周年記念サクラの植樹地）の下草刈りを行った。植樹地はアズマネザサ等伸び放題で、動力班の刈払い機が大活躍し、予定範囲は早々にスッキリした。

■5月22日（日）　下草刈り
緑の森博物館の東側（N地区、L地区）の下草刈り。茶畑の上側からコナラ、クヌギの植樹地へ斜面を登りながらの作業で、草丈は背丈を超える場所もあったが、動力班11人の圧倒的なパワーで、予定地区を超えるところまで進んだ。手作業班は倒木の処理、支障枝の剪定等を行った。なお、下草刈りのシーズンを迎え、刈払い機など動力機械の点検整備の重要性を再確認した。
〈緑の森博物館担当　№768　武藤光盛　所沢市〉

ときがわの森活動（ときがわ町）

原稿の締切りの都合上、3月の活動の報告が間に合わない一方、ときがわの森の林内整備はかなり進展しましたので短く報告します。
■3月5日（日）参加者21名
■3月12（日）参加者18名
両日の活動で、手作業班はSⅢエリアの枝打ちを終了。機械班はSⅠ、JⅧ右エリアの間伐を終了しました。
■4月2日（日）参加者14名
主に入会して日が浅い方を対象に手作業伐木研修、チェーンソー始めて間もない方に伐木リーダー研修をSⅣエリアで再開しました。
通常活動は、2班に分かれてSⅡエリアの間伐を終了しました。
■4月9日（日）参加者19名
手作業伐木研修＆伐木リーダー研修はSⅣエリアの間伐を終了、SⅢエリアの切残しを間伐しました。
通常活動は、1班は最も足場の悪いJⅡエリアの間伐を終了、もう1班は尾根部分のJⅢエリアをJ0に向かって間伐を開始しました。
■6月4日（日）参加者18名
手作業伐木研修＆伐木リーダー研修はJⅠエリアの間伐を終了しました。
通常活動は、尾根部分、1班はJⅢエリアをJ0に向かって間伐を継続、もう1班はJⅣエリアをJⅤエリアに向かって間伐を開始しました。
連日、多くの方々が活動に参加いただき、保全活動が大いにはかどり、大変感謝しています。
〈ときがわの森担当　No790　山根義之　朝霞市〉



ときがわの森エリア図

連載記事他

新入会員発言

昨年11月に入会した大慶（おおけい）です。伐倒・枝打ち指導などお世話いただき、ありがとうございます。兵庫県川西市生まれ大阪府池田市育ち。猪名川を挟んで隣接し、平野から山に続く地域です。菊炭や猪肉が名物で、源氏の発祥地でもあります。子供の頃から虫取りやら水晶探しなど近くの山で遊んできました。67歳を迎える今も、登山、カヌー、自転車、キャンプと外遊びを続けています。埼玉に居を構えて35年。昨年退職して7年ぶりに単身赴任先から戻り、山へ恩返ししたいと入会しました。遊びはともかく山仕事は素人で、事務系で何の技能もありません。ご面倒をかけますが、今後ともよろしくご指導ください。〈No.829　大慶順一郎　久喜市〉

『全国植樹祭参加報告（霜触　賢）』

６月4日に第７３回全国植樹祭が岩手県陸前高田市の「高田松原津波復興祈念公園」で4年ぶりに天皇皇后両陛下のご臨席のもとに行われ、私と事務局長の玉熊さんの両名が参加して参りました。数多（あまた）ある県内の森林ボランティアの中から県代表の一員に加えていただき光栄なことと思います。東北大震災後仲間と復興支援のボランティアに通ったことを思い出し、復興した（まだまだ十分ではないですが）町を見ると、当時の凄まじい惨状を見た者として感慨深いものがありました。また、奇跡の一本松として知られた松の木が、オブジェになってしまったとはいえ、凛として浜辺に立つ姿は復興のシンボルとして感動を呼ぶものでした。「緑をつなごう輝くイーハトーブの森から」の大会テーマのもとで式典は滞りなく行われました。式典に寄せられたの天皇陛下のお言葉に感銘深いものがありましたのでその一部を紹介したいと思います。

『我が国は、国土の三分の二を森林が占める世界有数の緑豊かな国です。健全な森林は、木材を始めとする林産物の生産だけでなく、人間が生活する上で欠かすことのできない水源の涵養や国土の保全、さらには地球環境や生物多様性の保全にも大きな役割を果たすなど、私たちに様々な恩恵をもたらしてくれる、国民の、ひいては人類共通の財産と言えます。こうした、かけがえのない森林の大切さを思うとき、苗木を植え、大切に育て、そして、未来を担う若い世代に健全な森林を引き継いで行くことは、私たちが果たすべき大切な使命であると考えます』

第75回全国植樹祭の大会テーマは「人・森・川つなげ未来へ　彩の国」です。私たちクラブもいろいろと手伝うことになると思います。ぜひ皆さんの頭の中に刻みこんでおいて下さい。ほとんどの方はもうこの先、地元で開催される植樹祭に巡り合うことはないとおもいますから。

寄稿

令和７年に全国植樹祭が埼玉県で開催されます

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるため、公益社団法人国土緑化推進機構と開催都道府県によって昭和25年から毎年春季に開催されている国土緑化運動の中心的行事であり、天皇皇后両陛下にお出ましいただく四大行幸啓のひとつです。

令和7年の全国植樹祭を埼玉県で開催することが決定されましたので経緯等を御報告します。

県緑化推進委員会など12団体が令和3年4月に、全国植樹祭開催招致の要望書を埼玉県知事に提出しました。県による招致表明ののち同年5月には県と県緑化推進委員会が連名で国土緑化推進機構に対して開催の申出を行いました。

令和3年8月には国土緑化推進機構から令和7年の開催県を埼玉県とする旨の内定を受け、令和4年8月に正式決定となりました。同年12月には開催地が秩父市と小鹿野町にまたがる秩父ミューズパークに決定しています。県内での開催は昭和34年に寄居町金尾山で開催されて以来66年ぶり、2度目となります。

開催準備の動きとしては、開催内定後に設置された準備委員会において令和4年5月に開催理念や基本方針等を含む「基本構想」が策定されました。

令和4年8月には実行委員会が設置され、現在各種行事や会場整備、運営等に関する「基本計画」の内容が検討されているところです。

また関連した取組みでは、保育園等で植樹祭や関連行事で使用する苗木をどんぐりから育てる体験実習「苗木のスクールステイ」や、イベント等でのPR活動が行われています。

今後「基本計画」の策定後に詳細な「実施計画」が策定され、開催気運を高める行事の開催や準備作業を経て、令和7年の5月か6月に開催日を迎えます。

開催まで2年になりましたが、成功に向けて関係者が協力して準備を進めていく必要があります。埼玉森林サポータークラブの皆様にもお力添えをお願いする場面があろうかと思いますが、その際には御協力のほどお願い申し上げます。

埼玉県緑化推進委員会　代表理事　岡　眞司
（全国植樹祭埼玉県実行委員会　副会長）

■入会のご案内

私達の活動は、多くの人々のご協力によって支えられています。ご賛同・ご支援を宜しくお願いします。

- 入会金：個人　2,000円／団体　10,000円
- 年会費：個人　3,000円／団体　10,000円
- 賛助会員：年会費一口　5,000円

事務局からのお知らせ他

◇ 新会員の御紹介

830 泉谷 康幸さん（久喜市）
831 松永 紘乃さん（加須市）
832 福田 俊明さん（さいたま市）
833 松坂珠生さん（さいたま市）

◇ 令和5年度会費納入のお願い

年会費3千円の納入をおすみでない方は、下記に郵便振込をお願いします。
口座番号 0120＝2＝407239
加入者名NPO法人埼玉森林サポータークラブ

◇ 新活動地「寄居風布の森」の活動開始

「寄居風布の森」について、森林整備サポート協定を森林所有者と締結しました。国道140号線の皆野寄居バイパスの風布インターを降りて車で15分ほどの場所です。風布のみかん畑の方へ道なりに登り、最後の天持園を過ぎ、浦高百年の森の方（林道葉原峠線）へ右折、約5分の所に防火貯水槽の広場があります。活動内容は間伐になります。チェーンソーを使う箇所と胸高直径10cmほどの手鋸での間伐箇所があります。多くの方が活動できる場所ですので、皆さんの参加をお願いします。初回は7月22日（土）です。なお、10月末からはみかん狩りも楽しめます。

◇ 体調管理を万全にして、活動参加のお願い

コロナの対策については、マスク着用の有無等、各自の判断に委ねられることになりました。体調管理を万全にしての参加をお願いします。

【森林の話 植林について】

世界の森林は約40.3億haで、全陸地面積の約31％です。しかし、世界の森林は減少を続けており、毎年520万ヘクタールが減少しています（2000年から2010年までの平均）。

日本の森林は約2,505万haあり、国土の約66％です。江戸時代の1850年には2,550万haあった森林面積は、明治に入り1900年には2,435万Haまで落ち込んだそうです。農地開拓や都市の造成などにより減少したものと思われます。

さて、森林からの産物である木材は、昭和30年代まで、住宅用はもとより燃料（薪や木炭）にも欠かせないものでした。

そこで、木材供給を主な目的とした植林を進めることになりました。その結果、日本の森林資源は有史以来最大の蓄積を誇っています。昭和30年頃にはどこの景色にも所謂「はげ山」がありましたが、現在はどこの山も樹木で覆われています。

さて、植林は目的をもって行われます。建築用材を主な目的として進められたのがスギ・ヒノキの植林です。その結果1,020万ha（約4割）の人工林となりました。また、森林の機能を発揮するためことを主な目的に植林されることもあります。例えば、大震災跡地に防風林を造成することなどがあげられます。サポータークラブが協力して宮城県の海岸線にマツの植林を行っていることなどがその例です。

しかし、どんな目的で植林されても、今の社会において、森林の多面的機能を発揮されることも重要ですので、これらの植林をした森林は手入れを必要とします。この手入れを保育（撫育）作業といい、下刈り・除伐・枝打ち・間伐・つる切等の作業があります。

一方、天然林の世代交代はどう行われるのでしょうか。大きな木が枯損したり風や雷などで倒れると、その木の下層にあった木が生長しその空間を埋め維持されています。

今後は、農地として開拓した場所が離農により耕作放棄地となった場所や山火事痕や鉱山跡地などの植林の困難な場所の森林再生などが課題だと思います。世界的に見ると、森林を伐採したため砂漠化した例など失われた森林を再生できないこともありますが、日本では時間がかかったとしても植林し森林を再生できるのではと思っています。

植林は森林づくりの第一歩です。そして植林後は保育作業が必要です。サポータークラブはその作業を担っています。

次回は、保育作業についてお話させていただきたいと思います。 〈No.719 玉熊英一 さいたま市〉

クラブ員の声＝素敵な仲間たち

地元で自治会長になり1年経過しました。その中で感じたことは当団体のクラブ員は非常にまれな存在だと言う事です。3.11災害以降被災地に赴く際大勢のクラブ員が気持ち良く同行してくれました。それが当たり前と思っていましたが、今自治会員に協力を求めても誰も賛同してくれません。「何故私が協力しなければいけないのですか」という言葉が返ってきます。同じ言葉をクラブ員に投げかけると多くの人が気持ち良く賛同してくれるのではないかと思います。クラブ員はボランティア精神に溢れた素敵な人が多いと思います。この様な方と出会えた事を嬉しく思います。

No.654 沢田 正

編集後記

梅雨開けとともに、猛暑が襲ってくることが報道されています。暑さによる気のゆるみからくる事故防止、熱中症対策を万全にしての活動を心掛けたいものです。右膝関節手術の術後経過も順調なので、これからは、活動回数を徐々に増やしたいと思っています。帰宅後汗を流してからのビールは、最初の一口なにものにも代えられないうまさです。あーうまい

（No160 小坂 博美 川越市）

「クラブ員の声」欄への投稿を２００字程度でお願いします。

活動スケジュール（2023年7月・8月・9月・10月）

月 日	曜日	フィールド	活動内容	集合場所
7月1日	土	ときがわの森	除伐：手）、機）共	ときがわ町西平　越瀬橋　手前　左側
7月2日	日	カタクリの里	下草刈り：　手）、機）共	神泉カタクリの里　グーグルマップ検索
7月9日	日	越生ふれあい里山	除伐・下草刈り：手）、機）共	虚空蔵尊　越生町上野2260先を右折　さくら公園駐車場
7月16日	日	くるみ小屋	水道メンテナンス	神川町上阿久原　　くるみ小屋
7月22日	土	寄居風布の森	間伐：手）、機）共	林道葉原峠線防火水槽脇の広場
7月23日	日	緑の森博物館	下草刈り：　手）、機）共	入間市宮寺889－1　緑の森博物館
7月30日	日	ときがわの森	除伐：手）、機）共	ときがわ町西平　越瀬橋　手前　左側
8月20日	日	くるみ小屋	林内整理：手）、機）共	神川町上阿久原　　くるみ小屋
8月27日	日	緑の森博物館	下草刈り：手）、機）共	入間市宮寺889－1　緑の森博物館
9月2日	土	ときがわの森	除伐、間伐：　手）、機）共	ときがわ町西平　越瀬橋　手前　左側
9月3日	日	カタクリの里	下草刈り：手）、機）共	神泉カタクリの里　グーグルマップ検索
9月9日	土	宝登山の森	下草刈り：手）、機）共	宝登山ロープウエイ駐車場の下（旧町民プール）
9月10日	日	越生ふれあい里山	下草刈り：手）、機）共	虚空蔵尊　越生町上野2260先を右折　さくら公園駐車場
9月16日	土	鷹ノ巣の森	下草刈り：手）、機）共	小川町鷹巣680　鷹ノ巣の森　　現地
9月17日	日	くるみ小屋	林内整理：手）、機）共	神川町上阿久原　　くるみ小屋
9月17日	日	高谷の森	下草刈り（手・機）、苗木固定	小川町高谷八幡2737　総合グランド入口左折　すぐ
9月18日	月	笠幡の森	笹刈り：手）枝条整理、機）笹刈り	川越市笠幡1953　　林内通路脇
9月23日	土	鴻巣・赤城屋敷林	下草刈り：機）下草刈り	鴻巣市赤城765
9月24日	日	緑の森博物館	下草刈り：　手）、機）共	入間市宮寺889－1　緑の森博物館
9月30日	土	寄居風布の森	間伐：　手）、　機）共	林道葉原峠線防火水槽脇の広場
10月1日	日	ときがわの森	枝打ち：　手）枝打ち実習	ときがわ町西平　越瀬橋　手前　左側
10月8日	日	越生ふれあい里山	オークネット準備＝除伐、下草刈り	虚空蔵尊　越生町上野2260先を右折　さくら公園駐車場
10月9日	月	寄居風布の森	間伐：　手）、機）共	林道葉原峠線防火水槽脇の広場
10月14日	土	笠幡の森	笹刈り：手）枝条整理、機）笹刈り	川越市笠幡1953　　林内通路脇
10月15日	日	くるみ小屋	作物収穫等	神川町上阿久原　　くるみ小屋
10月15日	日	高谷の森	下草刈り：手）ツボ刈り、苗木固定、機）下草刈り	小川町高谷八幡2737　総合グランド入口左折　すぐ
10月21日	土	越生ふれあい里山	オークネット活動支援	虚空蔵尊　越生町上野2260先を右折　さくら公園駐車場
10月22日	日	緑の森博物館	下草刈り：手）、機）共	入間市宮寺889－1　緑の森博物館
10月28日	土	桶川・加納屋敷林	竹林伐採、機）下草刈り	桶川市加納436
10月29日	日	黒山の森	間伐：機）間伐	越生町黒山771

※活動予定は、中止や変更することがあります。その節は一斉メールにてお知らせいたします。締め切り後に参加する時や、申込んだが当日欠席する時は事務局まで連絡を！直前の当日欠席は世話役まで連絡を！
※集合時間は8時30分です。支度をして集合して下さい。

拠点フィールドのご案内

■ときがわの森（ときがわ町）
毎月第１日曜日活動（担当：山根義之・岡田豊国）

■越生ふれあいの里山（越生町）
毎月第２日曜日活動（担当：平井崇詞・鈴木久代・樽石亜由美・菊池修一郎）

■緑の森博物館（入間市）
毎月第４日曜日活動（担当：武藤光盛・伊東喜尋）

埼玉森林サポータークラブ・コミュニケーション・ニュース　２０２３年７月１日発行（年４回発行）

■発行：特定非営利活動法人（NPO法人）
埼玉森林サポータークラブ

■発行責任者：霜触　賢　■編集リーダー：沢田　正

■編集スタッフ：木島　浩・北村　博・梶田　力・小室正人・利根川雅実・香取由美・樽石亜由美　・菅家征史・小坂博美・伊東喜尋・片野健一・菅谷　榮・岡田豊国・平井崇詞・藤井俊文・玉熊英一

■事務局：〒330-0063埼玉県さいたま市浦和区高砂3-12-9　農林会館B1　TEL. 048-814-2770
〈事務局開設日：月・水・金〉１０時～１５時

■事務局メールアドレス
info@shinrin-supporter.org

■ホームページアドレス
http://www.shinrin-supporter.org/